

(様式第A-2号) 栽培計画書(生産資材利用・栽培計画)【農産物関係】

複数の作型区分で申請する場合は、作型区分ごとに作成のうえ、様式第A-1号に添付してください。

登録申請者 氏名・法人名	
-----------------	--

申請品目 ※(イ)～(ニ)は、栽培基準表と対応

対象品目		適用する作型区分		品種名等
品目番号(イ)	品目名(ロ)	区分番号(ハ)	作型区分名(ニ)	

1. 栽培概要

土耕栽培		ベッド栽培
露地	施設	

※該当する欄に○を記入

作付回数	
年間	作

穀類・茶のみ記入

乾燥調整の実施(施設)			
登録者が所有する施設		外部に委託する	

※該当する欄に○を記入

作	栽培期間				栽培期間のうち 収穫期間			
	月	～	月		月	～	月	
1作								
2作								
3作								
4作								
5作								

2. 加工の実施

申請品目の加工品を製造販売する計画がある場合、加工品にも認定マークの使用を希望しますか。

希望する	希望しない (加工しない)

注) 認定マークの使用が認められる加工の種類は次の通りです。
(登録・認定基準 別表3を参照)

【精米】【仕上げ茶加工】【裁断】【乾燥】【粉碎】【製粉】【焙煎】【搾汁・搾油】【精麦】

※認定マークの使用を希望する場合は様式第C号及び添付資料を添付してください。(生産者自ら加工販売を行う場合)

※生産者と別の事業者が加工販売を行う場合は、「登録・認定基準 別表3」による登録申請が必要です。

(申請様式: 様式第B号及びその添付資料)

3. 生産資材概要

※「ベッド栽培基準」による申請は、(2)の化学合成農薬の上限値と投入計画値のみ記入。

(1) 土づくりの概要

① たい肥などの施用	
② 緑肥作物・作物残渣の導入	
③ 土壌改良資材の施用	

(2) 資材投入上限値・計画値 (ホ)～(ト)は栽培基準表、(H)～(O)は様式A-2-②号から転記

資材投入 上限値		
化学窒素	登録・認定基準 投入上限(ホ)	kg/10a
有機態窒素		
総窒素量	一般栽培レベル 投入総量(ト)	kg/10a
	総窒素投入上限 (ト) + { (ト) - (J) }	kg/10a
化学合成農薬	登録・認定基準 使用回数上限(ヘ)	成分回数

資材投入 計画値		
化学窒素量 (J)		kg/10a
有機態窒素量 (I)		kg/10a
総窒素量 (H)		kg/10a
節減対象農薬 成分数 合計(O)		成分 回数

※Hは、総窒素投入上限を超えないよう留意すること。
総窒素投入上限は茶の場合のみ基準値(ト)が上限。

※1作当たりの投入量を記入してください。

※栽培計画書(様式第A-2-②号)を添付してください。複数の作型区分で申請する場合は、作型区分ごとに作成して下さい。

※団体申請や、複数の栽培体系がある場合など、栽培体系により計画値が異なる場合は、最大値を記入してください。

(様式第A-2-②号)

栽培計画書(生産資材利用・栽培計画内訳書)

◇記入上の注意事項

- ・土耕栽培基準による申請者は、1(1)～(3)、2(2)、3、4の項目について記入してください。
- ・ベッド栽培基準による申請者は、2、3、4の項目について記入してください。

1. 土づくり技術実施計画等

(1) たい肥等施用計画 (登録・認定基準における1.(1)に該当するもののみ)

時期	資材名	C/N	窒素含量 (%)	投入量 (t/10a)	主な原料 主な有機資源	備考 (資材入手先など)

(2) 緑肥・作物残渣の利用計画 (登録・認定基準における1.(2)に該当するもののみ)

緑肥・作物名	施用・播種 時期	施用・播種量
		kg/10a
		kg/10a
		kg/10a

(3) 土壌改良資材の利用計画 (登録・認定基準における1.(3)に該当するもののみ)

土壌改良材の名称	施用時期	施用・播種量
		kg/10a
		kg/10a
		kg/10a

2. ベッド資材・その他の資材使用計画等

(1) ベッド栽培について

ベッド資材について	施肥方法について
	液肥(養液)・固形肥料・その他
	その他の場合概要を以下に記入してください。

※記入例: ロックウール使用

※該当するものに○を付す

(2) 土づくり、肥料、防除いずれにも該当しない資材

資材の名称	施用時期	施用量

栽培計画書（生産資材利用・栽培計画内訳書）

4. 化学合成農薬低減技術実施計画

(1) 化学農薬節減のための導入技術……該当欄に○印を付し、概要を右枠に記入してください。

温湯種子消毒	生物農薬利用	技術内容の概要 (使用する資材や機材の名称など)
マルチ栽培	熱利用土壌消毒	
フェロモン剤利用	対抗植物利用	
機械除草	抵抗性品種栽培・台木利用	
除草用動物等利用	光利用	
被覆栽培	その他	
土壌還元消毒		

(2) 農薬使用計画

種苗入手方法について(該当欄に○を記入してください)

成分数の合計: (M) (mの合計)	成分回数	自家	購入	備考 (種子更新の時期、購入先など)
節減対象外の合計: (N) (nの合計)	成分回数	種子		
対象成分数の合計: (O) (M-N)	成分回数	苗		

使用計画内訳 *年間に複数回作付けする場合には、最も多くの化学合成農薬を使用する作について記入すること。

	使用時期	対象病虫害 (使用目的)	使用農薬名 (略称ではなく正確に記入)	成分数 (m)	節減対象外 成分数(n)
(畦畔除草含む) 除草剤関連					
種子・育苗関連					
本ぽ関連					

不足する場合は次頁へ

